

一枚ポートフォリオの作成

一枚ポートフォリオ作成の留意点

「一枚ポートフォリオ」は、ただ1枚の用紙の中に収めれば所期のねらいが達成できるというものではありません。やはり、そこには留意しなければならないことがあります。

(1) 1枚のシートに学習過程で得た情報が収まるようにする

一番簡単な形はシートの表面だけを使うものです。それだけではどうしても無理な場合は、表面のみならず裏面を利用するようにします。

(2) 必要最小限の情報が構造化された形で得られるようにする

一枚ポートフォリオは、1枚のシートを用いるだけなので、得られる情報が限られています。そこで、すべてが記入されたときに学習内容が一目で全体を見わたすことができる工夫が必要です。一枚ポートフォリオは、普通のノートとは違い、単元の学習が終了すると、全体を構造化した形で目にすることができます。

(3) 学習前・中・後の学習履歴を通して、学習による変容が明確になるようにする

一枚ポートフォリオがもつ利点の一つは、同じ基準で学習履歴を振り返ることができることです。その振り返りは、学習者自身が自分の変容を具体的な学習内容を通して、可視的に行うことができるようにするためです。

(4) 教師が最も望む資質・能力を育成できるように問いかけの文を工夫する

一枚ポートフォリオは、学習内容の理解の程度を把握するだけでなく、教師が最も重視する資質・能力を育てることもねらっています。そのためには、問いかけの文を工夫する必要があります。それは、教師が何を求めているかによって異なってきます。

(5) 学習の変容を自覚できるように自己評価の欄を必ず設ける

一枚ポートフォリオ評価で最も重視することの一つが、シートに記録した内容を振り返り自己評価することです。それは、メタ認知の能力を育成するためです。ただ学習を振り返らせるのではなく、何がどのように変わり、それに対して自分がどう思ったのかなどを、具体的内容を通して可視的に確認できるようになっていることが大切です。

一枚ポートフォリオ利用上の留意点

一枚ポートフォリオは、ただそれを使って子どもに書かせればよいというものではありません。最大限の効果をあげるためには、それなりの配慮が必要です。

(1) 計画的に利用する

1枚という限定があるため、毎時間ごとの内容をすべて収めるのには無理があります。そのため、どの内容が終わったときに書かせるのか、あらかじめ十分に練る必要があります。どの段階で書かせることが最も効果的か、あらかじめ検討する必要性があります。

(2) 記入する量および時間を最小限にする

子どもの学習履歴を適切に把握しようとする、どうしても情報量を多く求めがちになり、その結果、子どもに多くの負担がかかりがちです。そのため、記入する量および時間を最小限におさえる必要があります。たとえどれほど優れた方法であっても、子どもが作成するのに分量が多すぎたり、時間がかかりすぎたりするものは、決して長続きしません。

(3) 学習者が書いた内容に可能な限り適切なコメントを書くようにする

コメントは可能な限り短く的確な言葉で書く必要があります。そして、できればその文言が子どもにとって考える要素を含んでいるとさらによいと考えられます。

(4) 学習者が書いた内容を次の時間の授業構成の見直しに活用する

教師のねらっていることが書かれていなかったとき、そしてクラスの大半の子どもがそれに該当している場合は、授業計画の見直しが必要です。一枚ポートフォリオは、適切に用いれば、指導に生かす評価を可能にできます。